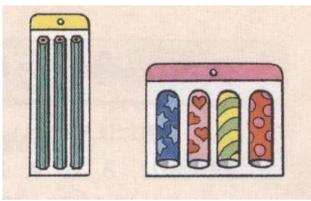
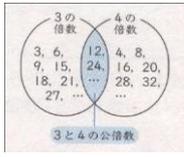


月日 (校時)	単元名	教材名
9月6日 (木) 4校時	偶数と奇数, 倍数と約数	整数の性質を調べよう
本時のねらい 本時 (3/11) ○「倍数」「公倍数」「最小公倍数」の意味について理解する。		
評価規準 考 3の倍数や4の倍数の数の集まりをそれぞれ1つの集合としてとらえている。(発言・観察) 知 倍数, 公倍数, 最小公倍数の意味を理解している。(発言・ノート)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 11:30	○前の時間のまとめ・振り返りをペアで伝え合いましょう。 ・2でわりきれる数が偶数 ・2でわりきれない数は奇数	奇数 偶数 ・前時の学習の振り返りをさせる。
【展開】 問題提示 11:32	1 問題を読む。 1ふくろ3本入りのえん筆と, 1ふくろ4本入りのキャップがあります。それぞれを何ふくろか買って, 数が等しくなるようにしたいと思います。 えん筆とキャップの数が等しくなるのは, 何本のときか調べましょう。  ○えん筆とキャップを買ったときの数を表を使って調べましょう。 ・えん筆を2袋買うと6本になります。 ・式は, $3 \times 2 = 6$ になります。 ■3に整数をかけてできる数を「3の倍数」という。(教師)	表 かけ算 数直線 図 ・解き方の見通しを立てる際, 表という方法を可能な限り児童から引き出すようにする。  倍数 ・えん筆とキャップの数について鉛筆が1袋のとき何本か, 2袋のとき何本か共有しながら, 倍数の意味を確認する。
課題把握 11:40	2 課題を把握する。 3と4の倍数が等しくなるのはどんなときか, 表や数直線, 図や式などを使って説明しよう。	
問いの共有  ・シラバス ・言語わざ 11:43 解決活動 ・1人学び	○今までの学習から解き方の見通しを立てましょう。 ・表を見て, 3と4の倍数が同じ数になるところを見つければよいと思います。 ・数直線に表して同じ数を見つけると分かりやすいです。  一人学び (5分)・班学び (5分)・学び合い (10分)・まとめ (3分)・振り返り (3分) 「理由をつけて説明する。」  3 えん筆とキャップの数が等しくなるときについて調べる。 ○鉛筆とキャップの数が等しくなるのは, どんなときですか。	
集団解決 ・班学び ・学び合い 11:53 ・考察 12:00 まとめ 12:05	4 考えを発表し合い, 考察する。 ○えん筆とキャップの数が等しくなるときについて交流し, 気づいたことを話し合いましょう。 ・12, 24, 36...とずっと続いています。 ・3と4の倍数が等しくなる数は, 12の倍数になっています。  ■3と4の共通な倍数を3と4の公倍数という。 公倍数の中で一番小さい数を最小公倍数という。(教師)	公倍数 最小公倍数 ・数直線やベン図など多様な表し方を取り上げる。 ・公倍数, 最小公倍数の性質を発見できるよう児童同士の考えをつないでいく。 ・グループリーダーに各班でできたことを説明させ, 共有する。  考 3の倍数や4の倍数の数の集まりをそれぞれ1つの集合としてとらえている。(発言・観察)
【終末】 振り返り 12:10 適用問題 12:13  12:15	5 学習したことを振り返る。  6 適用問題に取り組む。(P.82 ☆6)	知 倍数, 公倍数, 最小公倍数の意味を理解している。(発言・ノート) ・教科書の数直線を使いながら, 何問か問題を出し最小公倍数を求めさせる。